

# 2023（令和5）年度 事業報告

自 2023（令和5）年4月 1日

至 2024（令和6）年3月31日

## I 事業概要

2023（令和5）年度は通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施をした。

### 1. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の養成のための教材の作成

愛玩動物看護師法の制定に伴い新設された愛護・適正飼養学等の学習内容を反映させるための愛玩動物飼養管理士教本・課題報告問題・認定試験問題・スクーリング冊子及び電子スクーリング教材の改訂と制作。

### 2. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 愛玩動物飼養管理士などの指導者養成事業にかかる広報の拡大展開  
（リスティング・ディスプレイなどのウェブマーケティング、ウェブ広告、新聞・雑誌広告、専門学校への周知、企業タイアップ、インフルエンサーの活用、SNS公式アカウントの運用等）
- ② 愛玩動物飼養管理士の活動実績等の顕彰（評価）制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士制度の着実な運用。

### 3. 愛玩動物飼養管理士教育を補完する養成システムの総合的な体系づくりによる適正飼養の普及

- ① ペットオーナー検定の受験者の増加対策及びテキスト・検定問題改訂などの運用改善。
- ② 各種ペット関連団体を対象にした適正飼養の普及啓発活動推進のための支援。
- ③ 機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所への頒布。
- ④ 実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリスト及び愛猫スペシャリストの検定事業推進。
- ⑤ ペット共生住宅の整備及び管理運営方法の適正化をするための事業の推進と、ペット共生住宅管理士制度の推進やテキスト・検定問題の改訂。
- ⑥ 愛玩動物飼養管理士教育を補完するその他の各種教育事業の継続的な検討。
- ⑦ ペットの実践的な飼育手法を広く啓発するための各種書籍・パンフレットの頒布。

- ⑧ ペットの適正飼育に関する理論または実践方法を解説したデジタル教材（動画）を豊富に制作し、HP上に「学びの部屋」として学習サイトを設立することで広く閲覧を可能にし、継続学習もしくはリカレント学習をも促進。

#### 4. 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織・体制の整備

- ① 「部課制」による事務局と業務執行理事の日常的関与による着実且つ敏速な運営。
- ② 各々の地域に密着した適正飼養の普及啓発活動を、全国21都道府県に所在する当協会の認定連携団体へ委託して実施。
- ③ 各業務マニュアルに始まり、感染症拡大防止対策のマニュアルなどを整備することで着実なBCP（事業継続計画）の推進。
- ④ ICT（情報通信技術）の活用により、受講受験者・養成学校・当協会の3者間において当協会の教育事業が効果的・効率的な実施が可能となるシステム構築をし、e-スクーリング・マイページサイト・\*AEES及び学びの部屋を運用。

\*AEES：（Aigandoubutsukyokai E\_Education\_System）当協会が独自開発をした電子的な愛玩動物飼養管理士の授業支援システム。

- ⑤ 協会のコンピューターデータのセキュリティー保持と災害リスク回避のために、従来の社内ストレージ（NAS）から新規採用した「BOX（クラウドストレージ）」を活用。
- ⑥ 人材会社を利用した人員補充のシステム化、及び外注への作業委託によるマンパワーの補完。また、災害時等のリスク分散を図るための体制の整備。
- ⑦ 職員を外部機関研修に参加させることで職務能力と社会俯瞰能力の醸成を図る。

## II 事業内容

### 1. 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

#### 1-1 国及び地方自治体の事業への協力

##### (1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

###### ① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを愛玩動物飼養管理士養成制度採用校及び認定連携団体等に配布及び掲示依頼をし、動物愛護精神の高揚を図った。

## ② 中央行事

9月23日（土・祝）・11月23日（木・祝）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催で「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」のテーマのもとに、開催をした。

### <屋内行事（参加者：200人以上）>

今年度は3年振りの対面形式で、9月23日（土・祝）に東京国際フォーラムにおいて、各団体の表彰式、動物愛護管理法制定50周年記念シンポジウム、子供向けプログラムなどを開催した。

本協会においては、全国ペット写真コンテストの入賞作品を第1回から今年度実施した第43回までを一挙に展示した。

### <屋外行事：どうぶつ愛護フェスティバル（来場者：7,000人）>

11月23日（木・祝）に東京都台東区上野恩賜公園（不忍池・蓮池周辺）において、公益社団法人日本獣医師会が主催する「動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」と同時開催した。

場所	内容
野外ステージ	ペットも健康はお口から！歯みがき大好きレッスン、犬のしつけ方教室、NHKアニメ「ドッグシグナル：から学びまSHOW！～クイズで知る犬と人の絆～」
展示ブース	全国ペット写真コンテスト入賞・入選作品展示（本協会が実施）、○×クイズ（東京都愛玩動物協会が実施）、動物愛護週間ポスターコンクール入賞作品展示、「ペットの心得」など啓発冊子やポスター配布、各種パネル展示、動物愛護相談センターのお仕事紹介、「ペットの歯磨きレッスン」実演、ふかふかアニマルすくい、缶バッジ作成、マイクロチップ普及啓発ほか

## (2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への支援・協力

全国地方自治体（動物愛護管理行政）の121団体へ寄付金・寄贈品の贈呈を行った。寄贈品としては、マイクロチップリーダー、ノートパソコン、プロジェクター、ディスプレイ、飼い主のマナーハンドブックなどを贈呈した。また、この動物愛護管理行政の推進への貢献に対し、環境省自然環境局長より感謝状を受表彰した。

## 1-2 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

### (1) 愛玩動物飼養管理士教育事業の実績

2級愛玩動物飼養管理士（43期）及び1級愛玩動物飼養管理士（39期）の養成を実施した。愛玩動物飼養管理士の新規受講受験申込者総数は12,919名（1級・2級）であり、前年度比で94.0%（824名減少）であった。

内訳は、一般/個人の新規受講受験申込者数が5,971名で前年度比90.5%（629名減少）、企業の団体新規受講受験申込者数は98名で前年度比41.4%（139名減少）、スクールの団体新規受講受験申込者数は6,850名で前年度比99.2%（56名減少）であった。

#### 【新規申込者数の詳細】

級別新規申込者数		申込枠別の新規申込者数と全体の構成比		
申込級	新規申込者数	申込枠	新規申込者数	構成比 (%)
1級	1,859 (90)	個人申込	5,971 (1,733)	46.2% (67.1%)
2級	11,060 (2,494)	団体申込 企業	98 (10)	0.8% (0.4%)
準2級	募集停止	団体申込 スクール	6,850 (841)	53.0% (32.5%)
計	12,919 (2,584)	計	12,919 (2,584)	

(カッコ内は2月試験申込における新規申込者数)

### (2) 環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」としての愛玩動物飼養管理士事業の推進

環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されていることを踏まえ、環境教育等の指導者の育成にかかる各種要件の遵守に努めながら当該教育事業の推進を図った。

### (3) 2023（令和5）年度認定試験の実施（11月、2月）

11月試験は11月26日（日）、一般会場46会場、独自会場12会場で実施。2月試験は2月25日（日）、一般会場14会場、独自会場5会場で実施した。

また、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策として、試験運営マニュアルを作成の上、受験者及び試験官の安全確保に向けた取り組みとして、試験教室内の収容人数を半減させ、二部制（完全入れ替え制）の実施とした。その実施回数の内訳は、11月試験が156教室において1部2部合計で274回、2月試験が49教室において1部2部合計で87回を実施した。

【受験者数の詳細】

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1 級	2,168(336)	1,949(271)	1,497(157)	76.8
2 級	12,725(3,656)	11,274(3,198)	9,188(2,463)	81.5
合計	14,893(3,992)	13,223(3,469)	10,685(2,620)	80.8

(カッコ内は令和6年2月認定試験の内数)

(4) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

① 学校法人等との協力（指定校・採用校）

愛玩動物飼養管理士養成の新規採用校が1校増えた。結果、愛玩動物飼養管理士養成採用校は109校、このうち愛玩動物飼養管理士養成指定校は29校であった。

<新規の採用校>

イシハラドッグサロンプロトリマースクール

<参考：既存の指定校>

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園穴吹ビジネス専門学校、学校法人宮崎総合学院宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園吉田学園動物看護専門学校、学校法人大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー、学校法人東京愛犬学園東京愛犬専門学校、学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校、学校法人孔明学園東北愛犬専門学校、群馬動物専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、ナンバペット美容学院、名古屋スクールオブビジネス、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、専門学校岡山ビジネスカレッジ、岡山理科大学附属高等学校、北海道どうぶつ・医療専門学校、兵庫県立農業高等学校

② 企業取りまとめによる受講受験申込

次の10社より企業取りまとめによる受講受験申し込みがあった。

<企業名>

エコトレーディング株式会社、株式会社 AHB、ジャペル株式会社、

株式会社サンデー、西村ジョイ株式会社、有限会社スーマース、株式会社ジョイフルエーカー屯田店、イオン九州株式会社、大王製紙株式会社、ねこふく株式会社

#### (5) ペットオーナー検定

飼い主に対する初歩的教育及び愛玩動物飼養管理士への導入教育としての「ペットオーナー検定」を、インターネット上での申込受付、受験として実施した。受験者は249名（犬コース87名、猫コース41名、犬猫同時受験コース121名）、テキストのみの購入者は27名であった。当期はペットオーナー検定受験者が受講できるオンライン教材の作成とし、テキストの改訂を行った。オンライン教材では、「ペットのケア」「ペットのしつけ」「ペットフード」「リスクアセスメント」の4つのテーマをオンライン上でスライド視聴することを可能とした。テキストは、動物愛護管理法の改正を反映すると共に、マナーについての内容を追加した。

なお、ペットオーナー検定受験者249名における協会会員加入者数は19名であった。これまでのペットオーナー検定受験者3,665名における愛玩動物飼養管理士への受講受験申込者数は682名であり、19%の導入効果が認められた。

#### (6) ペットの実践的な飼育方法の教育

愛玩動物飼養管理士教育を補完するため、ペットの実践的な飼育方法に関する教育の継続。犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛犬飼育スペシャリスト講座」を引き続き実施し、今年度の申込者数は689名であった。これまでの申込者数の累計は7,730名で、合格者は4,708名となった。

また、猫の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛猫飼育スペシャリスト講座」については、今年度の申込者数は744名であった。これまでの申込者数の累計は3,594名で、合格者は2,221名であった。

なお、上記両講座の受講生の募集や受付、教材の発送などの業務は株式会社ユーキャンへの委託方式で実施した。

#### (7) 犬と猫との暮らしの教科書

社会全体としての適正飼養の確保及び推進を図るためには、関係する行政はもとよりペット関連産業従事者をはじめ、動物関連学校生、そして一般の飼い主向けに最新で包括的な情報の伝達と教育が重要である。このため、ペット飼育に関する広範な知識・情報を解説できるようにするための書籍として、『犬と猫との暮らしの教科書』（3,080円・税込・送料込み）を発行し、一般・学校向けに頒布した。今年度の販売数は、一般向けが85部、エデュワードプレスを通じて販売した学校向けが532部であった。

## (8) ペットの飼養管理

各種動物の実践的飼養管理方法をまとめた『ペットの飼養管理』（3,960円・税込・送料込み）を発行し、一般向けへ頒布しているほか、2級愛玩動物飼養管理士の副教材としても活用。今年度の販売数は43部であった。

## (9) 人と動物が共存する社会環境基盤整備

### ① 適正な飼育環境の整備

ペットの適正飼養を推進するためには住環境等の社会環境基盤整備を図ることも重要であることを踏まえ、愛玩動物飼養管理士教育の補完を図るために、ペット共生マンションなどの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』及び集合住宅向けの『飼い主のマナーハンドブック』の頒布や、ペット共生住宅の実現を目指す広がり（動き）を支援するための「ペットフレンドリーホーム宣言（人とペットの豊かな暮らし宣言）」の募集を行った。

今年度の宣言団体は以下の10企業・団体となっている。

#### <宣言団体>

一般社団法人ペットインテリア協会、タマホーム株式会社、株式会社住宅工営、株式会社西武ペットケア、株式会社アパートマン、旭化成ホームズ株式会社 集合住宅事業推進部、アニコム損害保険株式会社、一般社団法人ペットライフデザイン協会、株式会社グッドワン、オンコ株式会社

### ② 適正な飼育環境整備のための知識の普及

『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』、『飼い主のマナーハンドブック』、『ペット共生住宅管理士 住宅と地域環境づくりの仕組みと方法』の3冊をテキストとする「ペット共生住宅管理士」の検定試験においては、今年度における申込人数は142名、累計合格者は601名となっている。当期は公式テキスト『ペット共生住宅管理士 理論と実践』の大幅な改訂をした。そのことにより2023年8月から新規の申し込みを停止し、2024年2月より受講申し込みを再開した。

### ③ ペットツーリズムにおける適正飼養の確保

ペット・ツーリズムにおける適正飼養の確保等を図るため、全国ペットツーリズム推進連絡協議会の一員として参画をした。

(10) 愛玩動物飼養管理士認定委員会・教材等

① 管理士教本の編集

愛玩動物看護師法の制定により「愛護・適正飼養学の達成目標」が新設されたことを受け、愛玩動物飼養管理士教本の拡充をするべく改訂をしたが、当期は、2024（令和6）年度に向けた内容の点検を行った。

② 課題報告問題・認定試験問題の編集

最新版の認定試験問題集の中から、認定試験問題を選定。また、2024（令和6）年度教本の内容に合わせて、課題報告問題と認定試験問題の新規作成や、見直しと点検を行った。

③ スクーリングスライドの編集

2024（令和6）年度教本に合わせて、スクーリングスライド（デジタル）の修正と改善を行った。

(11) 愛玩動物飼養管理士を中心とした教育事業の広報

① 募集要項パンフレットを見やすく理解のしやすいデザインにするべく、一般用・スクール用共に見直しと改訂を行った。

② HPのコンテンツ改善とメンテナンスを適宜実行し、閲覧者に見やすく理解しやすいものに整備を行った。2023（令和5）年度は、約26万ユーザーからの訪問があり、約71万ページビューがあった。

③ 常時リスティング広告を行っており、検索ページにおいては概ね上位表示がされるような取り組みを行った。

④ 公式インスタグラム、ツイッターからの情報発信により、当協会や愛玩動物飼養管理士の認知の拡大を図った。

⑤ アフィリエイト（インフルエンサー/ブロガーの紹介告知力を活用した成功報酬型広告）による広報を実施した。

⑥ リスティング広告や広告出稿先などの外部ウェブサイトからのリンク先に「ランディングページ（LP）」を設置。そこで「愛玩動物飼養管理士（受験）の便益」を解りやすく解説し、そのままの流れで資料請求の手続きを可能としたことで、資料請求者数の増加を図った。

⑦ 従前の通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP 学び」「ベスト進学ネット」での広報を行い、愛玩動物飼養管理士受講受験の申込に誘導をした。

⑧ 企業とのタイアップ広報として、企業内会員に向けた広報に管理士等の紹介。また、著名ペット雑誌を発行する会社と管理士のパブリシティーPRを組み込む

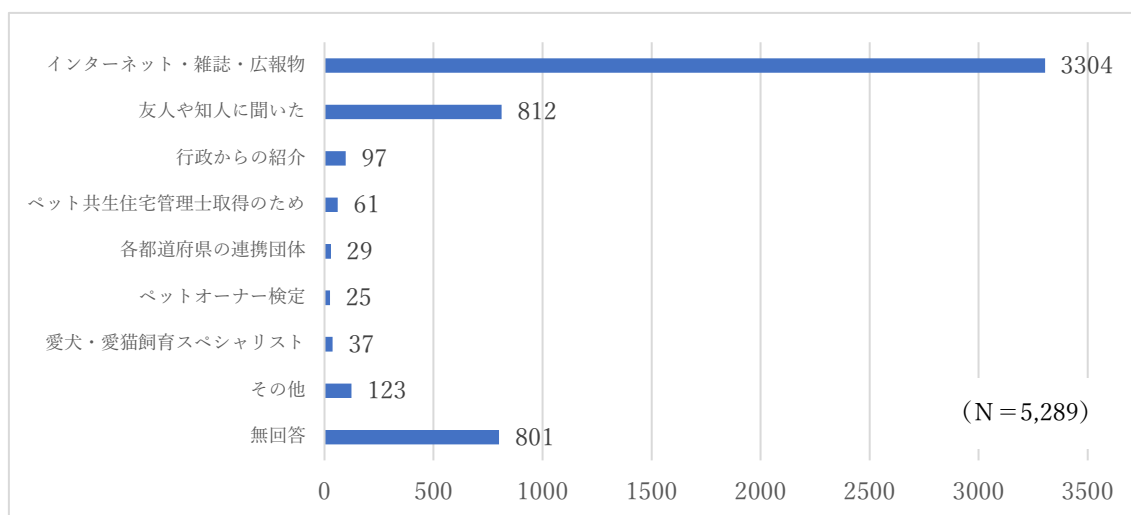


ことで、管理士の認知力の向上と資料請求数の増加を促進し、実際の申込を増加させた。

- ⑨ 広報の手法が書籍（雑誌・新聞等の紙媒体）からインターネット上への傾倒が著しいが、若干の有力ペット雑誌と不動産新聞へ広報活動を行った。

### 【参考】

今年度の2級愛玩動物飼養管理士受講受験への新規申込者の募集要項請求のきっかけ



### (1 2) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

ペットの適正飼養の普及啓発に関する実践的な活動の成果を顕彰（評価）するため、更新（第3期及び第6期）6名と新規（第9期）4名の合計10名を、上級愛玩動物飼養管理士に認定した。

（令和6年3月31日現在での上級愛玩動物飼養管理士数 92名）

### 1-3 調査研究及び情報の収集、提供

閲覧室の蔵書の収集と情報の提供

各種文献・学術論文等の収集と、各種の問い合わせ等に対して動物愛護及び適正飼養関連の情報提供を行った。

### 1-4 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

- (1) 電話やメールによるペット飼養相談の受付

電話やメールなどによるペット飼養に関する相談への対応を随時行った。

## (2) 第43回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第43回全国ペット写真コンテスト」を実施した。環境省、(一社)ジャパンケネルクラブ、(一社)ペットフード協会の後援のもとで実施し、338点の応募作品(応募者数208名)より14点の入賞作品が審査会において選出された。上位入賞者の表彰は9月23日(土)に動物愛護週間中央行事屋内行事(東京国際フォーラムにて開催)において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたパネルを送付した。また、入賞作品は、屋内行事会場に展示した。

賞名	タイトル	受賞者名 (敬称略)
ペット大賞・環境大臣賞	ももちゃんの「おさんぼ」	山中 文香
推選 (ジャパンケネルクラブ賞)	背くらべ	渡辺 宝
推選 (ペットフード協会賞)	ここが気持ちいいにゃ	早川 まい
推選 (日本愛玩動物協会賞)	老いて尚、更に愛おしく	大濱 彩香

なお、過去の入賞作品パネルについては、動物愛護週間中央行事の屋内行事で展示され、全国の動物愛護週間行事においても展示される等の活用が図られた。展示先は次のとおりである。

鹿児島県、郡山市

## 1-5 調査研究活動への助成

2023年度助成対象者(計2件、116万円)への助成を行った。

研究名	氏名	所属	金額
飼鳥雑誌にみる大正・昭和初期の外国原産鳥類の飼養と籠抜 - 外来種定着リスク回避のための適正飼養に向けて	西田 澄子	東京都市大学	31万円

研究名	氏名	所属	金額
家庭での愛玩鳥および動物園飼育環境下における Avian Gastric Yeast 症の原因真菌 <i>Macrorhabdus ornithogaster</i> の蔓延および感染機序に関する研究	小林 直樹	麻布大学	85 万円

## 1-6 機関誌等図書印刷物の刊行

### (1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

機関誌（隔月発行）を作成して会員に配布するとともに、関係自治体や全国の図書館への寄贈を行った。なお、各号の特集テーマは次のとおりである。

号	テーマ
291号（5月号）	見る・撮る・つながる！！ 「ペット動画」を楽しもう！
292号（7月号）	最新ペット情報の探し方
293号（9月号）	ペットと野生動物
294号（11月号）	「飼い主のいない猫」の今を知る
295号（1月号）	犬と猫の品種
296号（3月号）	「ペットとのお出かけ」の利用法とマナー

### (2) 啓発パンフレット等の頒布による啓発

次のとおりのパンフレット等を頒布し啓発をした。

種別	部数（約）
リーフレット	15,900部
人と動物の防災を考えよう	4,500部
いざというときのために ペットが被災したら	4,400部
被災ペットの救護活動ガイドライン —ボランティア活動をされる皆様へ—	550部
○×クイズ 緑（問題裏面：ペットオーナー検定告知チラシ）	2,600部
○×クイズ 青（問題裏面：ペットオーナー検定告知チラシ）	1,200部
○×クイズ オレンジ（問題裏面：ペットオーナー検定告知チラシ）	1,200部

種別	部数（約）
○×クイズ 黄（問題裏面：ペットオーナー検定告知チラシ）	3,300部

## 1-7 会員

会員の新規募集及び継続入会の呼びかけを行い、3月31日現在の一般会員数は、個人一般会員が13,115人（昨年3月31日時点より340人減少）、団体一般会員が17団体（昨年3月31日時点より1団体増加）であった。

なお、会員特典は次のとおりである。

会員特典の概要	協力企業等
機関誌『with PETs』の送付	本協会
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
「学びの部屋」のオンライン学習コンテンツ無料視聴	本協会
書籍の割引販売	株式会社エデュワードプレス
トリミング・ペットホテル料金の割引	株式会社西武ペットケア
「休暇村」の本館、コテージ、キャンプ場利用料の割引	休暇村協会
全国のプリンスホテルの施設（ホテル・ゴルフ場・スキー場など）の優待利用	プリンスホテル
年会費の税額控除	内閣府
富士急行株式会社関連施設利用料の割引	富士急行株式会社

## 1-8 寄付金

協会のホームページ等を利用した寄付金募集を実施した。なお、寄付金募集にあたっては、本協会は、内閣府より「税額控除方式の寄付金控除」を受けることができる団体として認められていること、また、環境省の推薦に基づき内閣府賞勳局より紺綬褒章の公益団体として認定されていることについての周知をした。

本年度は、19,861,420円の遺贈寄付を始めとする篤志家の方々からの寄付があり、寄付金合計は20,018,040円であった。

## 1-9 認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）等の各種プロジェクト活動への支援

### （1）認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）

認定連携団体の活動への支援を以下のように実施した。

団体名	所在地	分野	支援金額
全国※21 都道府県認定連携団体	全国 21 都道府県	定款第4条に定める事業の一部を都道府県単位で展開	3,908,533 円

※21 認定連携団体の認定状況

2024年（令和6）年3月31日時点

ブロック	認定連携団体のある都道府県
北海道・東北（3）	北海道、青森県、秋田県
関東（5）	茨城県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県
中部（3）	富山県、長野県、愛知県、
近畿（4）	三重県、大阪府、奈良県、和歌山県
中国・四国（2）	鳥取県、高知県
九州・沖縄（4）	長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計： 6ブロック/21団体	

また、以下の支援も行った。

#### ① 認定連携団体代表者会議

2024年1月16日（火）13：00～16：30の日程でTKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京）において、全国の認定連携団体の代表者を対象とした会議を対面で開催し、12団体が出席した。「今まで実施した活動で、最も効果があったものと、なかったものについて」のグループワークセッション、事務連絡と意見交換を行った。

#### ② 協力会員のボランティア保険の加入手続きを代行

代表の申請に基づき、今年度に活動が見込める協力会員350名の加入手続きを代行した。

#### ③ 協力会員の募集と登録・管理の業務を代行した。

### （2）その他の団体

次のとおり、支援対象事業を決定し、支援を行った。

団体名	所在地	分野	支援金額
和歌山県愛護教室プロジェクト	和歌山県海南市	飼い主教育・所有者明示・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	280,680 円
一般社団法人マナーニ	東京都港区	ペットとのふれあい	298,767 円
NPO 法人栃木アニマルセラピー協会	栃木県鹿沼市	ペットとのふれあい	299,000 円

## 2. その他本協会の事業目的を達成するために行った事項

### (1) 関係団体との情報交換等の実施

関係団体と適正飼養の普及啓発事業に関する情報の交換を行った。

### (2) 「第 35 回日本動物児童文学賞」への審査協力

(公社) 日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から役員が審査員として協力をした。審査結果は、毎年動物愛護週間行事として開催される中央行事の屋内行事で発表。

### (3) 協会の理事及び職員が関係する外部会議及び行事

会議等の名称	関係者・出席者
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会総会	協会本部役員
動物 ID 普及推進会議 (AIPO)	協会本部役員
日本動物児童文学賞審査委員会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会 動物感謝デー企画検討委員会	協会本部役員
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員
各指定校の評議員会等	協会本部役員

会議等の名称	関係者・出席者
ヒトと動物の関係学会	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

(4) 各種行事への後援・協力等

名称	開催時期	開催地	主催
インターペット 2023 ～人とペット の豊かな暮らしフェ ア～	東京：3月30日～ 4月2日 大阪：6月16日～ 18日	東京都・大阪府	一般社団法人ペット フード協会、一般社 団法人日本ペット用 品工業会、メッセフ ランクフルト ジャ パン株式会社
軽井沢ドッグツーリ ズム推進プロジェク ト	4月1日～	長野県	一般社団法人軽井沢 観光協会
第84回チャボ全国 品評会	5月14日	オンライン	全日本チャボ保存協 会
WJVF 第14回大会	7月8日～9日	大阪府	公益社団法人日本動 物病院協会、一般社 団法人日本臨床獣医 学フォーラム
JAHA 年次大会 2023	7月22日～23日	東京都	公益社団法人日本動 物病院協会
動物愛護フェスティ バル 2023 イン原村	9月20日～26日	長野県	動物愛護フェスティ バル 2023 インこも ろ実行委員会事務局
令和5年度沖縄県動 物愛護週間	9月20日～26日	沖縄県	沖縄県
第6回ペットインテ リア展・ペットサロ ーネ	11月15日～17日	東京都	一般社団法人アジア 家具フォーラム

「動物介在プログラム基礎講習」(オンライン)	11月18日～19日	オンライン	一般社団法人優良家庭犬普及協会
ちよだ猫まつり2024	2月17日～18日	東京都	特定非営利活動法人ちよだニャンとなる会、一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会、千代田区

### 3. 組織、会員、会議等

#### 3-1 組織 — 2024(令和6)年3月31日時点 —

##### (1) 役員

(※=常勤)

役員 (13名)	代表理事(1名)	会長	東海林克彦(※)
	業務執行理事 (4名)	副会長	安部正弘、平山淳
		常務理事	水口修(※)、武田和彦
	理事(6名)	浅野明子、荒井延明、池田毅、石島力、 対馬美香子、光永謙太郎	
監事(2名)	藤澤省二、岡崎留美		

##### (2) 相談役、顧問

相談役(1名)	椎野雅博
顧問(6名) (※=学術顧問)	臼井玲子(※)、斉藤久美子(※)、大島誠之助、畠山雅子、福田真由美、山田広美

##### (3) 委員会

###### ① 愛玩動物飼養管理士認定委員会委員(13名)

委員長: 林谷秀樹

委員: 荒井延明、臼井玲子、宇山理奈、大野瑞絵、谷田創、対馬美香子、  
中嶋建介、長嶺隆、藤井仁美、宮村美帆、山崎恵子、若生謙二



② 実践的飼育方法教育委員会委員（3名）

委員長 林谷秀樹

委員 臼井玲子、藤井仁美

③ 調査研究助成委員会委員（委員名は非公開）

（4）事務局役職員数

（単位：人）

区 分	年度当初	増 加	減 少	3月末
役員（常勤）	2	0	0	2
職員	6	0	0	6
計	8	0	0	8

派遣職員	3	1	1	3
------	---	---	---	---

3-2 会員数

（単位：人・団体数）

会員数		2023年度末	2022年度末
正会員	個人	52	57
	団体	21	22
個人一般会員		13,115	13,455
団体一般会員		17	16
名誉会員		0	0

3-3 会議の開催状況

① 社員総会

会議名	開催日	審議事項
第14回定時社員総会	6月1日（木）	2022（令和4）年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の件、定款の一部改正の件

② 理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回定例理事会	5月16日(火)	令和4年度事業報告、決算及び監査報告について、国・地方行政支援準備資金取扱規程の制定及び新会館取得資金取扱規程の改正について、総会の開催について、定款の改正案について、業務執行報告について、理事の職務権限規程に基づく代行順序の決定について、役員賠償責任保険の契約更新について、上級愛玩動物飼養管理士の認定について
第2回定例理事会	11月16日(木)	上半期の事業報告(概要)及び決算報告について、諸規程の改正について、国及び地方行政への支援準備資金について、連携団体の代表者会議について、業務執行報告について
第3回定例理事会 (書面決議)	1月31日(水)	調査研究助成事業について、特定費用準備資金規程(国・自治体に対する支援・協力事業)について
第4回定例理事会	3月21日(木)	愛玩動物飼養管理士認定試験(11月・2月)の合否判定について(追認)、連携団体の認定及び適正飼養推進プロジェクト支援について、令和6年度予算及び事業計画について(資金調達及び設備投資の見込みを含む)、令和6年度定期社員総会の開催について、特定費用準備資金規程の改正について、役員賠償責任保険の契

会議名	開催日	審議事項
		約更新について、能登半島地震への対応について

③ 業務執行理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回業務執行理事会	4月20日(木)	令和4年度事業報告及び決算について、教本の改訂等について、第1回理事会(5月16日)の議事について、理事会での業務執行報告について、総会の開催について、新会館取得資金取扱規程、国・地方行政支援準備資金取扱規程について、理事の職務権限規程に基づく代行順序の決定について
第2回業務執行理事会	5月16日(火)	上級愛玩動物飼養管理士の認定について、教本の改訂等について
第3回業務執行理事会	7月6日(木)	正会員について、中期計画について、役員等人事について、全国専修学校動物系教育協会について
第4回業務執行理事会	8月24日(木)	動物専門学校における管理士教育について、動物愛護管理法の改正への対応について
第5回業務執行理事会	9月21日(木)	役員保険の加入コースの選定について、諸規程の改正について、連携団体代表者会議等について、インボイス制度への対応について、動物愛護管理法の改正への対応について、中期計画について
第6回業務執行理事会	10月26日(木)	上半期の事業報告及び決算について、国及び地方行政への

会議名	開催日	審議事項
		支援準備資金について、規程の改正について、連携団体代表者会議について、職員給与のベースアップについて、次回の理事会の議事について、中期計画について、業務執行報告の確認
第7回業務執行理事会	11月16日(木)	12月賞与について
第8回業務執行理事会	12月21日(木)	連携団体の代表者会議について、役員等人事について
第9回業務執行理事会	1月16日(火)	連携団体の代表者会議について、能登半島地震への対応について、動物愛護管理法の改正について
第10回業務執行理事会	1月25日(木)	特定費用準備資金規程の制定について、調査研究助成事業について、今後の理事会の開催について
第11回業務執行理事会	2月15日(木)	連携団体の認定及び適正飼養推進プロジェクト支援について、令和6年度予算及び事業計画について、令和6年度定期社員総会の開催について、特定費用準備資金規程の改正について、役員賠償責任保険の契約更新について、職員人事について、理事会(3月)の議事について
第12回業務執行理事会	3月21日(木)	理事会(3月)の議事について、職員人事について、役員・各種委員会の人事の進め方について、国及び地方自治体への協力事業について

④ 各種委員会

委員会名	開催日	審議事項
第1回愛玩動物飼養管理士認定委員会	8月21日(月)	2022(令和4)年度第3回愛玩動物飼養管理士認定委員会議事要旨の確認、2024(令和6)年度の愛玩動物飼養管理士教本について<答申>、2024(令和6)年度の課題報告問題及び認定試験問題の点検について<諮問>
第2回愛玩動物飼養管理士認定委員会	11月30日(木)	認定試験(11月)の合格者の決定について<諮問・答申>、2024年度課題報告問題・認定試験問題の点検について<答申>
第1回調査研究助成委員会	12月4日(月)	2022(令和4)年度助成結果報告、2024(令和6)年度調査研究助成申請者審査会
第3回愛玩動物飼養管理士認定委員会	2024年2月29日(木)	認定試験(2月)の合格者の決定について<諮問・答申>、2025年度教本の点検について<諮問>

### Ⅲ 事業報告の附属明細書

2023（令和5）年度の事業報告の附属明細書は、補足すべき重要な事項がないことから、作成をしていない。

以上